

SIG 姿勢保持講習会 2023 に参加して

大嶋 志穂

四天王寺和らぎ苑

1. はじめに

2023年7月22日と23日の二日間に渡り、大阪府大阪市にある山西福祉会館を会場にSIG 姿勢保持講習会 2023 が対面とオンラインのハイブリットにて開催された。約4年ぶりに対面での開催ということもあり、会場での実習を含めた参加申し込みは受付開始早々に定員となり、見学での参加者を含め対面参加が81名、オンライン参加が94名と多くの方が参加された。当日は様々な職種の方が参加され、リハ職種や学校教員、エンジニア等、多方面の現場に関わる方が参加されていた。今回参加した、小児部門の講習について報告する。

2. 1日目基礎講習と実習について

1日目の基礎講習では、小児部門と高齢者部門に分かれ、それぞれのご利用者の姿勢保持を考える上で必要な「基礎知識や考え方」、「姿勢保持装置の概要」、「姿勢保持の押さえておきたいポイント」



図1 張り調整実習

図2 ウレタンフォーム
カッティング実習

などについて学んだ。実習では、小児部門と高齢者部門共通して張り調整実習とウレタンカッティング実習の二つがあり、張り調整では、現場でよく使われる機種を使用し、張り調整を体験する側と調整する側の両方の役割を交代で体験した。ウレタンカット実習では、体幹パットと座モールドクッションを作製し、カッターの使用方法や注意点、作製するための測定方法などの細かい説明を受けた上で墨付けから実際のカットまでを体験した。

専門的な知識が学べる基礎講習と共に姿勢保持に必要な実習が受けられるのはSIG 姿勢保持講習会の醍醐味であると感じた。

3. 2日目応用講習とQ&Aについて

2日目の3つの応用講習では、1つめの「生活支援と姿勢保持」というテーマで姿勢保持具の持つ役割や歴史、制度について学び、2つめの「小児の日常生活と姿勢保持」では、実際のこどもさんを通した実践報告が多くあったためとても分かりやすく、姿勢保持によって変化することのリアリティのある様子には感動を覚えた。3つめの「現場で生きる製作技術～三層強化段ボールの利用～」では、姿勢保持具の作製材料となる強化段ボールについての説明と実際の姿勢保持具や遊具などの製作例が多く紹介された。強化段ボールはそのメリットを活かし、被災地で生活に必要な家具を作製した活動内容の報告などもあり、強化段ボールについてより深く知ることが出来た。最後のプログラムQ&Aでは、「現場での姿勢保持」というテーマで、リモート参加者からの話題提供で挙げられた事例の困りごとに対して、様々な職種の5名の講師陣が応えるという形式が取られたものであった。その時の講師陣と話題提供者のやり取りは、姿勢保持を考え評価するため

四天王寺和らぎ苑

〒584-0082 大阪府富田林市向陽台1-3-21

に必要な端的で的確な質問とアドバイスのやり取りが繰り返され、この二日間に込められた姿勢保持の何たるかが凝縮された時間であったように感じた。実際に現場で姿勢保持を検討する上で必要な視点と、評価と調整を繰り返すテンポ感をリアルに感じる事が出来た時間であった。

4. おわりに

ご利用者が過ごす環境は多岐にわたり、それぞれの現場の職場環境によって提供できるものは異なるが、姿勢保持について考えることは、こどもの可能性を拓げるために重要であると改めて認識でき、明日からの実践につながる有意義な二日間であった。